

社会福祉法人 紅葉の会

さくらんぼ保育園



経験の中で学ぶ

「川って冷たい！流れている！」「魚って速い！
生きている」大人には当たり前のことも、子どもには
触れてみて初めてわかる大きな発見です。
私たちは、知識も身体で感じて欲しい、心で学んで欲しい
と考えています。

新しい知識や出来事を受け止める柔らかな頭、友だちを
思いやる優しい心、自分のことは自分でできる生活力、
そして自分に対する自信。さくらんぼ保育園で過ごす時間が、
人生のしっかりした生きていく土台を育てる大事な時間と
なるよう、保育を展開していきます。



みんなで育ちあう



起きている時間のほとんどを過ごす保育園。
ここではみんなが、いいところもそうでないところ
も含めて、丸ごと関わっていきます。友だちが
傍にいてだけで楽しい乳児期から、一緒に遊ぶ楽
を知り、自分の思いが通らない悔しさ・悲しさも
含めて、どうしたら楽しく過ごせるか工夫する2・
3歳時期。そして、仲間が頑張っているから自分も
頑張ろうとする幼児期。喧嘩も含めてすべての関
わり合いの中に一人一人の成長があります。大人
も子どももみんなで育ち合うことを大切に日々過
ごしていきます。

芸術性が高く伝統ある文化の継承

私たちは、子どもたちに日本の素晴らしい伝統芸能
を伝承して欲しいと考え、沖縄のエイサー・津軽の
荒馬・アイヌの踊り・石川県の「御陣乗太鼓」など
に親しんでいます。中でも石川県無形文化財

「御陣乗太鼓」は保存会の方をお招きして迫力ある
演奏を子どもたちに見せ、お面づくりを行います。
卒園式には自分で作った面をつけて太鼓を打ち鳴ら
します。感性豊かな子どもたちの表現力の素晴らし
さに心打たれます。



さくらんぼ保育園の理念

乳幼児期は人格形成の基礎をつくる時期であり、ヒトから人間へと変わっていく大切な時期でもあります。その時期をより豊かなものにして欲しいと願い「3つの自然先生」を念頭においた保育をしています。

- ①自然（自然界）の中で遊びぬき、多くの体験をしていく。
- ②自分で育つ力（自己の内なる自然）、年齢に即して育つ力を大切にし、その発達をとらえた保育をしていく。
- ③大人から子どもへと自然に受け継がれていく営みの中で、人間として豊かな大人からよいことをたくさん学んでいく。

そのために5つの具体的な目標に沿った保育を実践しています。

楽しい保育園

遊んで食べてお昼寝をして…また食べて、遊ぶ。毎日の繰り返しの中で心も体も大きくなります。野山で友だちと転げまわって遊び、水に触れ、土に触れ、自分の感情をいっぱい出せる事、よい絵本やお話が豊富にある事、仲間と共に遊べる優れた玩具がある事で、一日を充実できるようにしています。子どもたちが毎日「楽しいね！」「保育園に行こうよ！」と通園してくることを願って、魅力ある保育づくりを進めています。



一人一人の発達を大切に

子どもの発達には年齢に即して成長していく姿がありますが、そのペースにも個人差があります。お子さん一人一人の成長段階を見極め、時には見守り、時には発達を促すような取り組みを意図的に行い「自分で伸びようとする力」を十分に引き出していきます。このように年齢に即した発達や自分で育つ力を大切にし、食事、トイレなどの生活面、歩行、運動機能などの身体面、友だちとの関わりや自立心など精神面が健やかに育ちゆくよう保育を進めています。

それぞれの月齢・年齢、発達に応じて、豊かな心と健やかな身体を育てます。

こどものそだち

0歳児

一人一人の生活リズムを大切にします。



睡眠・遊び・食事を生活の基本に、一人一人のリズムに合わせてゆったりと関わっていきます。愛着形成の大事な時期に、目と目を合わせ（目交）大人と向かい合う事を大切に、歩行までの発達をとらえた保育をしていきます。

1歳児

見たい触れたいという気持ちと動きを大切にします。



好奇心旺盛で、見たり触れたりしていく中で沢山の事を学んでいきます。水遊び・砂遊びも大好き。模倣の天才の1歳児。大人の真似をして「ジブンデ」したい気持ちを見守り、「ジブンデできた」という喜びにつなげます。

2歳児

自分でやりたいという気持ちやり始める力を大切にします。



やりたい、やれると思っていることは「イヤ」という言葉で現われ主張し始めます。大切な反抗期を受け止めながら食事や着替え、トイレなどの自立を支えていきます。遊びや言葉への意欲も育てます。

3歳児

友だちと遊ぶ楽しさを充分体験し、友だちとの関わりを育てます。



友だちとケンカしたり、また仲良くなったり、その繰り返しが友だちとの関係を作っていきます。身体も心も大きくなって、色々なことに挑戦し力をつけていく時期。高尾山の山登りも始めます。

4歳児

豊かな経験や体験を
たくさん取り入れます。



ごっこ遊びや集団遊びをたくさんすることで、一人一人の思いを乗り越えて、ルールを守ってみんなで遊ぶ楽しさを体得していきます。月2回、スイミングプールでの取り組みもスタート。食事や午睡も準備から片付けまで行い、自分たちで「生活」を作り自立に向けていきます。

保育時間

7時～18時（延長保育19時まで）

休園日

日曜日
国民の祝日
年末年始（12月29日～1月3日）

1年の流れ

- 4月 入園式（新入園児保護者参加）平日
- 7月 七夕・プール開き
- 9月 子どもまつり（保護者参加）土曜日
- 10月 運動会（保護者参加）土曜日
- 11月 防災を考える日（保護者参加）平日
- 12月 おたのしみ会
- 1月 もちつき
- 2月 節分
- 3月 ひなまつり会
- 卒園式（卒園児保護者参加）土曜日^{又は}祝日

5歳児

集団の中で自分のあり方が
わかる自立から、自律を
育てる1年です。



0歳児から遊びぬいて蓄えた力を発揮します。畑作り・雑巾縫い・袋縫い・当番活動・掃除・描画・鯉のぼり作り・縄編み・お泊り保育など、たくさんの課題をやり抜いて力をつけ、達成感を自信へとつなげていきます。自分で考え行動できる子・自分のあり方がわかる子など、自立から自律へ、集大成の1年です。

1日の流れ

- 7:00 開園
 - 0・1歳児 合同保育
 - 2歳児以上 合同保育
- 8:30 各クラス別保育
 - ロールマット（視診）
 - 朝の会・日課
 - 主活動（散歩・リズムあそび・園庭遊び・課題）
- 11:15 昼食（0歳は個別対応）
- 12:30 午睡
- 15:00 おやつ
- 16:00 帰りの支度・夕方の会
 - あそび（散歩・リズムあそび・園庭遊び・描画・粘土）
- 17:30 あそび
 - 0・1歳児 合同保育
 - 2歳児以上 各クラス保育
- 18:00 延長保育
 - おやつ・あそび
 - 0・1歳児 合同保育
 - 2歳児以上 合同保育
- 19:00 閉園

《園庭遊び》



《夏のプール》



《4・5歳児のスイミング》

《散歩・遠足での経験》



《畑・食材に触れる・調理》



《労働》



《リズムあそび 年長》



《ロールマット》

《乳児リズム》



《年長児クラスの取り組み》



さくらんぼ保育園オリジナル

戸外活動の充実



自然の中での経験

自然の中で仲間と共に心身ともに大きく育ててほしいとの願いから、一日かけての登山や牧場での触れ合い、雪遊びなど季節に応じた経験ができるよう、計画しています。感性を豊かに育てるための大切な取り組みですが、自然災害や感染症などその時々々の状況を判断しながら、できることを検討していきます。



0～1歳児は3クラスの小集団で
ゆっくり関わります。

0～1歳児は、月齢や発達の数値によって、個人差の大きい時期です。

0歳児クラス・01歳児混合クラス・1歳児クラスの3つに分けて、小集団の中で一人一人と丁寧に関わることで、大人との信頼関係をより深く築けるように配慮しています。また、発達段階に応じた保育展開ができるのも大きな利点となっています。

3クラス分け



調理室の窓は、小さい子どもから調理の様子が見えるようになっています。床が一段低いのも調理台が子どもたちの目線になるようにするためです。また、年齢に応じて、食事の配膳や片付けも行います。食べる事、食べるものとのつながりを身近に感じられるように配慮しています。

食と命のつながりを肌で感じ、
食を身近に感じて生活します。

食育

鮭やブリの解体・川での魚つかみなど、命あるものをいただく事を知ってほしい、自分の食べるものに関して興味をもってほしいという想いで、取り組んでいます。畑を耕し、種や苗を植え、土が乾いたら水をやります。成長する野菜を大事に育てた後の収穫物は、好き嫌いを超えて子どもたちの心に届きます。また、1歳児はミカンの皮むき、2歳児は、玉ねぎやトウモロコシの皮むき、3歳児は、ゴボウの泥洗い、4・5歳児は調理保育と年齢に応じた食育計画を立てて親しんでいます。

素材厳選、安全・美味の給食活動

農薬やポストハーベスト・保存料や防腐剤等を考慮した安心して食べられる「季節の食材」を選び抜いた仕入れ先から取り寄せています。野菜を中心に、油や肉を摂りすぎない薄味で歯ごたえのある食事です。おやつも、大切な一食の栄養と捉え、し好品は使用せず、手作りの蒸しパン、お焼き、ゆでトウモロコシ、昆布、煮干し、酢大根などをよく噛んで食べています。

アレルギー食は医師の診断・指示のもと、卵・牛乳・大豆・小麦の除去や代替えを行っています。保護者と栄養士が面談を行いながら対応しています。また、陶器の食器を使うことや母乳パックの受け入れ等も行い、当園の給食は、東京都集団給食施設栄養改善知事賞をいただきました。

みんなでつながる 子育て支援 「親子のひろば」



ひろばは「みんなで子育て、みんなで育ち合い」（一人一人の子育てを「ひろば」に来るみんなで支え合い育ち合えるよう参加者とともに作っていく）場です。お子さんにとって楽しい場所、お母さんにとっても、ほっとできる場所になる様な取り組みを行っています。お気軽にあそびにいらしてください。



《 主な取り組み 》

園庭開放 リズムあそび 園行事への参加

親子であそぼう（アフタフ バーバン）写真下

親子交流 妊婦さんと赤ちゃんの会

輪になって話そう 他

《 参加方法 》

毎月の予定表はホームページに掲載されています。要申し込み以外は直接お越しください。

《 育児相談 》

どんなことでもお話を伺います。一人で悩まずご相談ください。（電話・面談）

月～金 9:00～17:00



保育園と家庭の連携

保育園は、集団生活の場です。色々なお友だちがいて、色々な大人がいて、色々なご家庭があります。お子さんにとって社会生活の第一歩となります。あそびや生活を通して様々な力を獲得し、仲間を通して多くの感情を経験します。お子さんが実り多き社会生活を過ごせるよう、ご家庭で行う事と保育園で行う事を明確にして、お互いに協力しながらお子さんの育ちを支えていきます。

《 家庭の役割 》

(1) 生理的欲求の保障

「早寝早起き朝ごはん」で食べることを寝ることを満たします。

(2) 体調把握と管理

集団生活が可能な体調か日々視診を行い、体調が悪い日は家庭保育をします。

(3) 愛着形成

お子さんの肌に触れ、目と目を合わせ、沢山会話をして親子の絆を深めます。

自己肯定感を育む大切な時期です。お子さんの心を満たしていきましょう。

(4) 基本的生活習慣の獲得

食べる・排泄・着替え・身支度が自分で出来るように、保護者の方は環境や道具を整え、共に行い、見守っていきます。

《 保育園の役割 》

「子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育を行う」

☆一人一人の子どもに温かく共感しながら受容的、応答的に関わる

☆安心して自分の思いや力を発揮できる環境で遊びなど自発的な活動を通して体験的に様々な学びを重ねていく

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

1. 健康な心と体
 2. 自立心
 3. 協同性
 4. 道徳性
 5. 規範意識の芽生え
 6. 社会生活との関わり
 7. 思考力の芽生え
 8. 自然との関わり・生命尊重
 9. 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚、言葉による伝え合い
 10. 豊かな感性と表現
- 保育所保育指針より

保育所保育指針・さくらんぼ保育園保育理念・保育目標を元に、年齢別保育を展開していきます。その中で、一人一人の発達を見極めて関わっていきます。

《 早寝・早起き・朝ごはん 》

- ①元気な体と心を育む
- ②毎日の活動を意欲的に行える

就寝 → 20時 起床 → 6時

夕飯は軽めに済ませ、早く布団に入り、十分な睡眠をとると、朝からごはんをもりもり食べられます。午前中に元気に活動するためにも朝ごはんをしっかりと食べて登園するようにしましょう。



《 遊ぶ時間は、綿パンツ 》

- ①肌で排尿・排便を感じて感覚神経を育てます。
- ②排泄のたびに大人が語り掛け、交換し快・不快を心で感じる大切な時間です。
- ③這っている0歳児も軽い綿パンツで過ごすので、快適に動け、運動機能が高まります。
- ④薄い綿パンツで着脱をしていくので、衣類の着脱がとても上手になります。
- ⑤排泄感覚が育つため、自らトイレに行くようになり、トイレでの排泄の確立と紙パンツが不要になる時期が早いです

《 食事・午睡の時間は、紙パンツ 》

便からはウイルスも排出されるため、排便のある食事前後の時間と午睡（熟睡できるように）の時間は紙パンツを使用します。
※ご希望の方は布おむつでご対応致します。

《 洗濯物 》

- ①一日元気に遊ぶと0・1歳児はエコバック1袋分位上下5セット程度の洗濯物をお持ち帰りいただきます。
- ②洗濯物で、お子さんの一日の遊んだ様子や体調がわかるようになります。

お仕事との両立で洗濯は大変ですが、2歳になり排泄が確立すると、洗濯物の量はグッと減ります。日中お子さんが元気に遊んで、もりもりご飯を食べている様子を思い浮かべながら乗り切っていただければ幸いです。
排泄の回数やにおいが普段と違う時は体調が悪い兆候かもしれません。



《 はだし 》

- ①元気な体と心を育む
- ②足裏の感覚が育つ
(硬い・ぬるぬるしている・段差・草は柔らかい・など足裏で感じたことを脳に伝達し、自分の身を守るようにもなります)
- ③足の指の分化
(足の指を広げて踏ん張る力・台地をつかむ力動物にはできない直立二足歩行には指の分化が不可欠です。靴や靴下で覆ってしまうと指の分化は妨げられてしまいます。)
- ④足の親指を使うことで歩行力を養い、脳への刺激も促します。

体と脳を育てるために、園内と園庭はどの季節もはだしで過ごしています。そのため全フロア一冬でもぬくもりのある「ひのき」の床です。



《 実体験からの学び 》

- ①人間も動物も、実際に経験したことや肌で感じたことから、多くの学びをして脳や感覚を育て生きていきます。
- ②バーチャルの世界では大人になるための大切な感覚は育ちません。

自然環境の中での発見や仲間と共に遊ぶ保育を展開するため、保育中にTVを見せることはありません。休日も、できるだけ保護者の方との触れあいや、戸外で体を使う遊びや、自然を堪能することなどで楽しいひと時を過ごすことをお勧めします。

《 歯磨き 》

- ①お菓子・ジュースのし好品が虫歯の原因
- ②夜の仕上げ磨きが、虫歯予防

保育園では、し好品は出ないため食後にお茶を飲むことで口腔内を清潔にしています。夜の寝ている間に虫歯になりやすいため、年長児であっても自分で磨いてから、保護者の方が仕上げ磨きをして虫歯予防をしてください。転倒して歯ブラシがのどに突き刺さる危険性も踏まえて、保育園では歯ブラシ指導は行っていません。

《 自然物を大事に 》

- ①お子さんが身に着ける物は、綿（自然素材）が心地よく肌や心に害がありません。
- ②お子さんが見て触れる物も自然の物だと感性が育ちます。（花・草・木・動物・虫水・空・大地・海・雨・雪・・・）

大人が作ったキャラクターやTV・ゲーム・スマホ・映画・DVDは乳幼児期には不要です。保育園生活で使用する衣類・靴・帽子・リュックなどはキャラクターのついていないシンプルなデザインの物をご用意ください。



《 冬でも戸外あそび 》

- ①子どもはとにかく体を使いたい
- ②冬の自然からの学びも沢山ある

日中の温かい時間を選びながら、冬でも戸外でのあそびが主活動です。もちろん室内あそびも行いますが、雨上がりや雪が降った時ほど子どもたちは外に出たがります。衣類で防寒するよりも、動いた方が体の中から温まることを実体験のもとで子どもたちは知っているのです。また、免疫力も高まり、風邪をひかない元気な体に育っていきます。



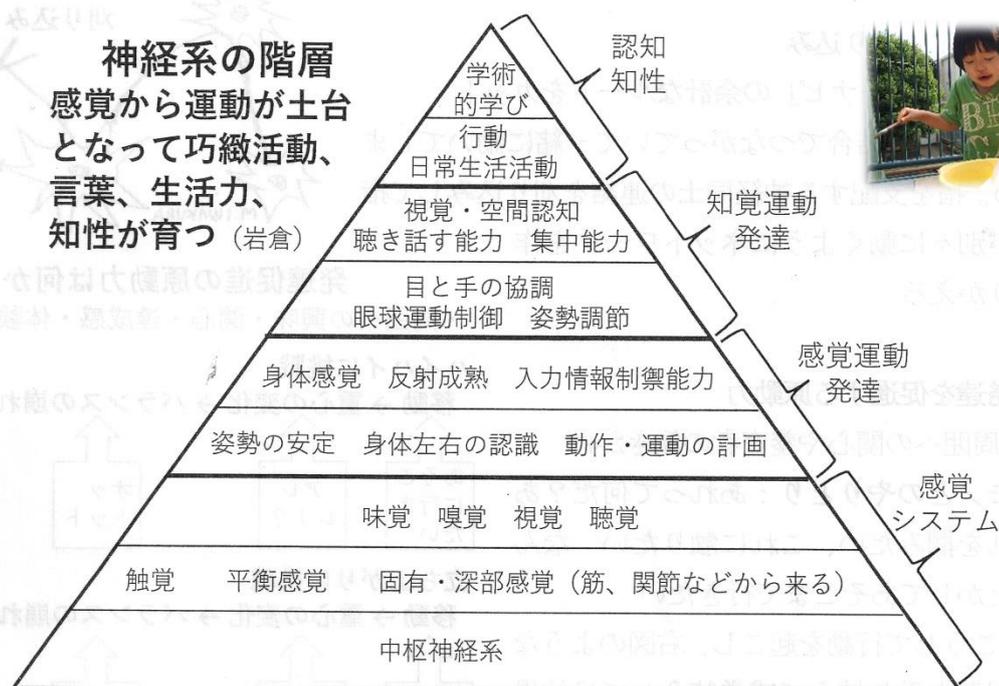
《 文字学習・習い事 》

- ①愛着 大好きな人に自分の存在を認めてもらう経験・人と過ごすことが心地よい・自己肯定感
- ②感覚 音・におい・味・皮膚感覚・うれしい・悲しい・直立する・人や物との距離感
- ③運動機能 脱力・走る・よじ登る・転がる・バランス・ボール・縄跳び・鉄棒・泳ぐ
- ④巧緻活動 手指を使って物を作り出す・折り紙・粘土・工作・はさみ・のり・大工道具・針
- ⑤言葉 経験したことや自分の考えが言葉で表現できる。相手の話を理解して聞くことができる
- ⑥生活力 自分の身の回りの事が自分で出来る・掃除・仲間や家族と協力して過ごせる
- ⑦規範感覚 人の気持ちがわかり協力し合える・ルールや約束事を理解して自ら守れる

乳幼児期に①～⑦を育てると知性が身につきます。この適正期は7歳(小学1年)です。保育園は①～⑦が育ち合う場にて「あいうえお」や足し算引き算を机の上で勉強することはしません。保育の中で全身運動を保障し、年長児では大工道具や針を使って物を作り出す事を体験できるようにします。また、英会話などの早期教育やサッカー・空手・水泳などの習い事も7歳以降で十分と捉えています。是非、幼児期は大好きな保護者の方と一緒にプールで遊んだり、公園でサッカーやキャッチボールをしたり、料理やお菓子作りを楽しんだりなど、今しかない時間を楽しんでほしいと願います。



神経系の階層
 感覚から運動が土台
 となって巧緻活動、
 言葉、生活力、
 知性が育つ (岩倉)



『Pyramid of Learning』 Williams & Shellenberger, 1996を参考に簡略化

お子さんの体調管理と安全対策

正規職員の看護師が、お子さんと職員の体調の把握と指導を行っています。また年に1回、健康診断・歯科検診、毎月の0歳児検診も行い、園医も含めてお子さんの育ちを支えています。安全面においては、避難訓練・防犯訓練を定期的に行っています。その他、ヒヤリハットの共有や改善プロジェクトを設置し危険個所の改善を常時検討しています。

CPR（心肺蘇生法）

お子さんに携わる職員は、東京消防庁によるCPRの研修を受け資格を取得しています。応急処置と心肺蘇生ができるよう学びを継続しています。

検温

全園児、登園時・午睡中の2回の検温を行い体調の把握をしています。（保護者の皆様にも伝達しています）

感染症

1. 換気（常時窓を開放）
2. 手洗い・うがい指導
3. 清掃と消毒
4. 職員と同居家族の体調を把握
5. 全保護者の理解と協力
6. 感染症発症数の情報提供
どの感染症も拡大しないよう努めます

散歩時のリュック・上着を目立つ色で

車や自転車の運転手の目につくよう、職員のリュックや上着を蛍光色やピンク・オレンジ赤にして散歩に出ています。



プール監視員

担当職員の他に1名、監視専門の職員が高い位置からプール内を見守ります。

SIDS（乳幼児突然死症候群）



1. 午睡時の見守り専門係を設置
顔色・呼吸の確認・仰向け寝の徹底
2. 01歳児はセンサーを装着
見守り職員とセンサーでWチェック
3. 見守り係を指導するためのラウンド係
見守りが徹底されるよう、毎日第三者が全クラスをラウンドしています。

熱中症



1. 暑さ指数（WBGT）測定機の導入
2. 経口補水液（手作り）
こまめに水分補給を促しています

散歩時の職員加配

道路を長く歩く際は、担当職員数+1名職員を加配して安全確保をしています。

遠出の散歩は、リュックを背負って

幼児クラスは、散歩中に災害が起きてしばらく現地滞在になっても大丈夫なように、防寒具や水筒をお子さん自身がリュックに背負って散歩に出ています。

敷布団は個人で使用

入園時に保育園で購入した敷布団を卒園まで使用します。定期的に専門業者による布団乾燥を行っています。

ご入園前の皆様からよくあるご質問

Q. 駐車場・駐輪場はありますか？

A. 保育園の近くにある、パーキングにて5台分の駐車スペースを確保しています。また、園の敷地内に駐輪スペースがあります。



Q. ベビーカーは置いておけますか？

A. 敷地内に置いて置くことはできます。

Q. 連絡帳は何歳までありますか？

A. 全クラス、スマートフォンのアプリ機能を使って保護者の皆様と情報交換をしています。お迎えの1時間前に、体調や食事の食べ具合、今日の様子などをご覧いただくことができます。

Q. 保育料以外の集金はありますか？

A. 18時以降と短時間保育の延長保育料と幼児クラスの副食費のみです。教材は保育園が購入・準備します。

Q. 保護者会（役員会）はありますか？

A. 年1回のクラス交流会の企画をしてくださる、クラス委員のみ順番に行って下さっています。（卒園までに数名のみ）役員会や会費などはありません。家族ぐるみで仲良くなっていくので、卒園後も、共に子育てをしていく仲間関係ができていきます。

Q. 体調が悪くなった時や怪我をした時の対応はどうしていますか？

A. 具合が悪そうになった時に、保護者の方に一報ご連絡します。体調が回復しない場合は、再度ご連絡をし、保護者の方と相談しながら、お迎えに来ていただいています。

保育中に怪我をした場合、看護師が処置致します。通院が必要な場合は保護者に承諾をいただいた上で、保育園の方で通院しています。再通院が必要な場合も保育園の方で通院しています。

Q. 使用した紙オムツは、持ち帰りですか？

A. 保育園で処分しています。



Q. 準備する持ち物はありますか？

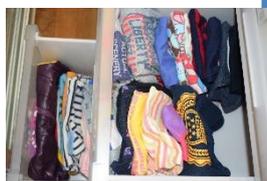
A. お子さんが身に着ける、衣類・靴・午睡時のタオルケット（毛布）・登降園と散歩時のリュック・体をふくタオル・水筒などをご持参いただきます。

※個性を大事にするため、保育園指定の物はございません。

Q.. 衣類は何セット位必要ですか？

A. 年齢や季節によって異なりますが、幼児クラスのお子さんは、2.3組。乳児クラスのお子さんは5・6組程度。

汚れなどを気にせず存分に遊びこんでもらえるよう、リサイクル・古着がおすすめです。保護者の皆さんが自由に選んで持っていきけるリサイクルコーナーがあります。小さく着れなくなった衣類を寄付していただいています。



Q. 防犯対策はどうしていますか？

A. 防犯カメラの設置・警察・管理会社との連携・オートロックと2重の門扉・防犯訓練などで対応できるようにしています。

また、保育園外での安全に関しては、地域の皆様に見守っていただけるよう連携を図るとともに、携帯電話・防犯ブザーなど防犯グッズを携帯しています。

Q. 発達などについて相談できますか？

A. 年に2回、個人面談を設けています。また、個人面談期間以外でもご要望があれば、いつでもご対応しています。担当保育士・栄養士・看護師・主任・園長・巡回相談（年5回）みんなで子育てをサポートして行きます。保護者の方と相談しながら専門機関との連携も行います。小学校への就学に関してもお子さんと保護者の方に寄り添いながら、スムーズな移行が出来るよう努めています。小学校へも書類のみならず口頭で引継ぎを行います。

Q.. その他、貸し出ししている物
はありますか？

A. 絵本の貸し出しコーナーがあります。絵本の読み聞かせは、言葉の獲得・親子のスキンシップ・知識や感性を育ててくれます。是非たくさんのお絵本に触れて欲しいという願いを込めて、自由に借りられるコーナーを設置しています。



Q.. 写真の販売はありますか？

A. 販売は行っていないですが、毎月の「保育だより」に写真を掲載して様子をお伝えしている他に、「手作りの誕生日カード」「手作りの運動会メダル」「手作りの卒園アルバム」にてお子さんの写真をプレゼントしています。

Q.. 職員の年齢層はどんな感じですか？

- A. 勤続年数 15年以上のベテラン → 5割
子育て真っ最中（産休・育休含む）30代 → 3割
子ども達と元気いっぱい遊べる20代 → 2割

子育てをしながら、保育経験を積んできた職員が多く在籍しているところが、さくらんぼ保育園の最大の特徴です。心と体の年齢発達・お子さんの体調の変化・小児の病気・人間関係や社会性、就学に向けてなど、多くの知識と経験の元でお子さん一人一人に寄り添っていきます。また、子育て世代は、保護者の皆さんに一番寄り添える存在となり、若手職員は、お子さんが満足行くまで遊びこんでくれます。その他、有資格の非常勤職員と掃除などをこなしている主婦パートさんなど、50名近くの職員で、お子さんの安全と育ちを支えています。

多様な世代で知恵を出し合い、保育方針は貫きながらも時代の流れに沿った保育運営を模索し続けます。

保育園の概要

社会福祉法人 紅葉の会 さくらんぼ保育園/分園

●所在地 府中市紅葉丘 1-28-1 / 1-27-1
(分園は小道をはさんで向かい側)

●電話 042-366-2178 (本園)
042-360-2505 (分園)

●経営主体 社会福祉法人 紅葉の会

●施設認可 昭和 61 年 4 月 1 日 (本園)
平成 13 年 12 月 1 日 (分園)

●敷地面積 831.00 m² / 222.38 m²
(総敷地面積 1053.38 m²)

●延床面積 664.35 m² / 170.96 m²
(総延床面積 835.31 m²)

●建物構造 鉄筋コンクリート 2 階建 (本園)
鉄骨造 2 階建 (分園)

沿革

1979 年 無認可保育園設立

1986 年 社会福祉法人「紅葉の会」認可
社会福祉法人「さくらんぼ保育園」認可
定員：45 名

1990 年 延長保育・地域活動事業・アレルギー食対応など始まる。

1994 年 増改築の工事着工

1995 年 定員変更 55 名 (2 歳児未満 27 名・3 歳児 28 名) *延床面積：499.85 m²

1998 年 4・5 歳児保育認可 定員変更 83 名
*延床面積：539.02 m²

1999 年 定員変更 96 名

2001 年 さくらんぼ保育園 分園設立
定員変更 110 名 *延床面積 709.98 m²

2010 年 増改築の工事着工

2011 年 定員変更 130 名 *延床面積 835.31 m²

2012 年 白糸さくらんぼ保育園設立



← さくらんぼ保育園



↑



← 保育園分園

姉妹園 白糸さくらんぼ保育園
白糸台 3-36-2 ☎042-367-4610

交通機関

- ☆京王線「多磨霊園」駅下車
京王バス約5分「紅葉丘」バス停下車 徒歩1分
- ☆西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩10分

所在地 ㊦183-0004 東京都府中市紅葉丘 1-28-1

電話 042-366-2178

Fax 042-340-5539

ホームページ sakuranbo.momiji-no-kai.jp



ホームページ

